

第42回

芳山

教育研究
発表会

令和8年
1月30日
(金)



「〇〇ちゃんの気持ちって分かるかな？」教師の問いに、教室のあちこちから、「話してもいい？あのね……」「〇〇ちゃんの気持ちって……」「ここまでは分かるけど……」「それって、こうなんじゃないのかなあ……」子どもたちがどんどん話をつなげていく。頭の中は〇〇ちゃんのために何とかしてあげたいという思いでいっぱいの子どもたち。どの子どもも安心して自分の思いを表出できる学級。言葉につまった子どもにも、教師は温かいまなざしでじっと見守る。まわりの子どもも、大丈夫という気持ちでその子を待っている。そんな静かな空気が流れる教室。教師は、どの子どもの思いも同じように大事に受け止める。だから、子どもたちも仲間の思いを大切にす。 「芳山教育」では、教師が子どもの可能性を信じ、子ども一人一人のよさや可能性を見取り、「子どもは、主体的に学びを切り拓くことができる存在」であると信じています。

3年次をむかえた研究主題「向き合う学び」、本年は副主題～こだわりの先に～を設定し、「子どもの学び」についてさらに考え、授業実践をしてきました。ご参会の皆様のご意見、ご助言をいただき、私たちの次への学びにつなげていきたいと考えております。

校長 難波和生



研究
主題

向き合う学び（3年次）
～こだわりの先に～

8:35	9:05	9:35	9:50	10:35	10:50	11:50	12:50	13:35	13:50	14:50	15:10	16:40
受付	研究紹介		公開授業Ⅰ		ともに語る会Ⅰ	昼食・休憩	公開授業Ⅱ		ともに語る会Ⅱ		鼎談	

	学級名	教科等	単元・題材名等	授業者	授業者より	指導・助言者
公開授業Ⅰ	すみれ (知的)	自立活動	すみれスマイルプロジェクト ～ありがとう・がんばろうねを 伝え合おう～	石塚 美央	これまでのすみれ学級での楽しい思い出を振り返る活動を行います。その中で自分の関わりが誰かを笑顔にしたり、誰かの力になったりしていることに気づき、自分の存在を肯定的に捉える感情を育てていけるような授業を目指します。	郡山女子大学 家政学部生活科学科教授 小林 徹先生
	たんぼぼ 1組 (自閉・情緒)	道徳科	ともだちだから（友情、信頼） 「二わの小鳥」	青木 美央	「どうして友達がいると楽しいんだろう」「友達が悲しそうだ、なんで自分も悲しいの」仲間の考えを聴きながら、共に過ごす仲間を「友達」という視点で見つめます。子どもたちが「〇〇君は、ほくにとって大切な友達」と少しだけ感じる事ができたらうれしいです。	元中学校通級指導教室担当教諭 今泉 祥子先生
	1年2組	国語科	くらべてよもう 「どうぶつの赤ちゃん」	古川 由美恵	説明的文章の問いや答え、繰り返し出てくる言葉に着目し、分かったことや気付いたことを伝え合いながら学んできました。比べながら読むことで、赤ちゃんの育ち方の共通点や相違点を見付け、感想をもつことができる授業を目指します。	郡山市教育研修センター 指導主事 関根 豊先生
	2年1組	算数科	たし算とひき算 図をつかって考えよう	渡邊 佳央里	子どもたちが「どうして?」「なるほど!」と問いを見だし、仲間と考えを共有しながら、問題解決することを大切にしました。問題場面と図とを関連付けて考え、図という数学的な表現のよさに気付くことができる授業を目指します。	郡山市教育研修センター 学校教育アドバイザー 川前 照幸先生
	3年1組	体育科	E ゲーム ア ゴール型ゲーム ポートボールを基にした易しいゲーム	関東 永輔	それぞれの必要感や困り感から、子どもたちが自ら問いを見だし、動きを見合ったり、気づきを聴き合ったりしながら、ゲームを楽しむために必要な技能や思考を磨いていく授業を目指します。	郡山市立芳賀小学校教諭 福本 政之先生
	4年2組	算数科	広さの比べ方と表し方を考えよう	佐藤 裕美	子どもたちが「なぜだろう?」と問いをもち、自分なりの根拠をもって、仲間と試行錯誤することで、面積への見方・考え方を豊かにする授業を目指します。	郡山市総合教育支援センター 指導主事 八城 真人先生
	5年2組	算数科	比べ方を考えよう（2） ～割合～	吉田 千真	日常生活にある買い物の場面から「お得な買い方はどれだろう?」と問いを見だし、割引される前の値段に注目しながら、仲間と試行錯誤して問題を解決していくことを通して、割合の見方を豊かにしていく授業を目指します。	田村市立常葉小学校長 柳田 憲子先生
公開授業Ⅱ	6年2組	総合的な学習の時間	あすまちこおりやま ～願いや思いを結んだまちづくり～	吉田 美香	郡山市の過去を知り、未来を思い、今を生きる子どもたち。「まちづくり」を通して出会った方々の思いと自分の思いを重ねながら、現実と向き合い、「自分たちにできることは何だろう」と子どもたちが自ら学びを創り上げていく授業を目指します。	福島大学人間発達文化学類 准教授 坂本 篤史先生
	たんぼぼ 2組 (自閉・情緒)	自立活動	みんなの思いを形にしよう! ～チームたん2の挑戦～	須釜 祐樹	学級のみんながチームとなり、一つの物を作り上げる活動を通して、自分のめあてを意識したり、仲間とやりとりをしたりする中で、自分や学級のみんなの思いを実現していこうとする授業を目指します。	元中学校通級指導教室担当教諭 今泉 祥子先生
	たんぼぼ 3組 (自閉・情緒)	算数科	5年「変わり方調べ（2）」 6年「比例と反比例」 ～先を予想しよう～	佐藤 翔英	5・6年生と一緒に、共通の問題を解決します。どの2つの数量に注目して、どのようなきまりを見つけたのかを共有したり、新しい問題を見だしして解決に動き出したりできるような授業を目指します。	郡山市総合教育支援センター 指導主事 大原 太一先生
	2年2組	生活科	これまでのわたし これからのわたし	宮田 侑歩	入学してからもうすぐ2年。いろんな人に支えられ学校生活を送ってきた子どもたち。これまでの日々を振り返りながら、過去と現在の自分を比べ、支えてくれた人々との関係や自分の成長に気付くことができるような授業を目指します。	福島大学人間発達文化学類附属 学校臨床支援センター教授 宗形 潤子先生
	3年2組	算数科	三角形と角 三角形を調べよう	目黒 あゆみ	子どもたちが問いを見だし、見方・考え方を働かせて、仲間と気づきを共有しながら解決していくことを大切にしています。図形の構成要素に着目して構成の仕方について考え、「～だったら」と問題を発展させて学ぶことができる授業を目指します。	田村市立常葉小学校長 柳田 憲子先生
	4年1組	社会科	特色ある地いきと人々の暮らし	阿部 真弥	郡山市から福島県に視野を広げて学習している子どもたち。単元を通して、資料を読み取りながら事実を捉えます。福島県に住む人たちが、努力や苦勞をしながら思いをもって地域の一員として生活していることを理解し、地域を好きになることができる授業を目指します。	県中教育事務所学校教育課 指導主事 沢 貴史先生
	5年1組	国語科	登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみりよくを伝え合おう「大造じいさんとガン」	武藤 涼子	これまで登場人物に自分を重ね、人物の変容を捉えてきた子どもたち。大造じいさんの心情や残雪との関係の変化を「この言葉が使われているってことは」「でもこっちは……」と仲間と聴き合い、言葉に立ち戻りながら読み深める授業を目指します。	郡山市立大島小学校長 齋藤 博先生
公開授業Ⅲ	6年1組	算数科	算数の学習をしあげよう	鈴木 美由紀	これまで既習を大切に学んできた子どもたち。子どもたちが問いを見だし、課題を解決していく中で、「それってどういうこと?」と仲間の考えに寄り添ったり、「～だったら」と新たな問いを生み出したりすることができる授業を目指します。	郡山市教育委員会学校教育推進課 指導主事 松田 吉弘先生

鼎談 15:10～16:40

午前と午後の公開授業をもとに、研究主題である「向き合う学び」や副主題の「こだわりの先に」について、3人に語っていただきます。

「こだわりの先に」とは

学習院大学文学部教育学科 教授

秋田 喜代美 先生

同志社女子大学現代社会学部
現代こども学科 教授

吉永 紀子 先生

郡山市立芳山小学校 校長

難波 和生



お申し込み方法

○ 本校ホームページの「おしらせ」にある参加申し込みフォーム、もしくは右の二次元コードからお申し込みください。



○ 参加費は2,000円（研究紀要・要項代を含む）となります。当日、受付にてお支払いください。（学生は、1,000円となります。）

参加申し込み締め切り 令和8年1月19日（月）

昼食について

○ 昼食を希望される場合は、お弁当の斡旋をいたします。希望される方は「参加申し込みフォーム」内で、一緒にお申し込みください。

お弁当代 1000円（お茶付き）
当日、受付にてお支払いください。

※ なお、当日はお弁当の斡旋は致しておりませんので、ご了承ください。

交通・駐車場のご案内

バス JR郡山駅から福島交通「郡山駅前」9番のりばより市役所経由のバス7番のりばより「さくら循環虎丸まわり」のバス「第二中学校」下車、徒歩で約3分

タクシー JR郡山駅から約5分

徒歩 JR郡山駅から徒歩25分～30分（約2km）

自家用車

郡山市内の方

- ※ 駐車場は、真如苑郡山支部さんの駐車場となります。
- ※ 真如苑ご利用の方も駐車されますので、十分に気をつけて駐車してください。

郡山市以外の方

- ※ 駐車場は、ザ・モール郡山さんの平面駐車場となります。
- ※ 一般の方もそれぞれ駐車されますので、十分に気をつけて駐車してください。
- ※ 駐車券を学校までお持ちください。本校受付にて無料駐車券と引換いたします。（出られるときは無料駐車券のみ差し込みます。駐車券と無料券の両方を差し込んでしまうと出られなくなりますのでご注意ください。）
- ※ 駐車場案内者はおりませんので、事前に場所を確認の上、おいでください。

※ 真如苑、ザ・モール郡山ともに駐車場に限りがございます。節車にご協力ください。



福島県郡山市立芳山小学校

〒963-8017 福島県郡山市長者二丁目8番24号
T e l : 024-932-5294
E-mail : hozan-e@fcs.ed.jp
U R L : <https://koriyama.schoolweb.ne.jp/0710005>



芳山小学校 HP